

公 示

公示第 4 4 号

準特定地域における一般乗用旅客自動車運送事業の需給状況の 判断結果及び適正と考えられる車両数について

平成 2 6 年 1 月 2 7 日付け公示第 9 6 号「準特定地域における一般乗用旅客自動車運送事業の適正化の推進のために監督上必要となる措置等の実施について」に基づき、一般乗用旅客自動車運送事業の需給状況の判断結果及び「特定地域及び準特定地域における一般乗用旅客自動車運送事業の適正化及び活性化に関する特別措置法」(平成 2 1 年法律第 6 4 号)における準特定地域の適正と考えられる車両数(以下「適正車両数」という。)を別表のとおり公示する。

なお、需給状況の判断結果の算定基礎数値及び適正車両数の算定基礎数値は、別紙のとおりである。

令和 7 年 8 月 2 9 日

東北運輸局長 吉田 昭二

附 則

令和 7 年度の準特定地域における法人タクシー(一般乗用旅客自動車運送事業(1 人 1 車制個人タクシーを除く。))の新規許可申請、条件解除の承認申請、営業区域の設定に係る事業計画変更認可申請、増車に係る事業計画変更認可申請、休車の解除に係る事業計画変更認可申請及び個人タクシーの新規許可申請について適用する。

(別表)

都道府県	営業区域名 (交通圏)	必要車両数 (両)	令和6年度末 車両数 (両)	増加可能 車両数 (両)	適正車両数 (両)		令和6年度末車両数と 適正車両数(上限)との 乖離率 (%)
					上 限	下 限	
青森県	青森交通圏	413	625	▲ 212	616	413	1.4
	八戸交通圏	274	463	▲ 189	391	274	15.6
	弘前交通圏	264	370	▲ 106	363	264	1.9
岩手県	盛岡交通圏	465	694	▲ 229	703	465	-1.3
宮城県	仙台市	1469	2095	▲ 626	2104	1469	-0.4
秋田県	秋田交通圏	284	445	▲ 161	441	284	0.9
福島県	福島交通圏	266	405	▲ 139	383	266	5.4
	郡山交通圏	338	563	▲ 225	517	338	8.2
	会津交通圏	119	193	▲ 74	186	119	3.6
	いわき市	232	333	▲ 101	312	232	6.3
山形県	山形交通圏	250	449	▲ 199	437	250	2.7

※上記「令和6年度末車両数」は、特定地域及び準特定地域における一般乗用旅客自動車運送事業の適正化及び活性化に関する特別措置法（以下「タクシー特措法」という。）第2条第9項に定める事業用自動車（一般乗用旅客自動車運送事業（1人1車制個人タクシーに限る。）を除く。以下、個人タクシー）の数である。

(別紙)

1. 算定方法

輸送需要量 ÷ (平均総走行キロ × 平成13年度実車率 ÷ 平均延実働車両数) ÷ 365 ÷ 実働率

2. 適正車両数の算定基礎数値

都道府県	営業区域 (交通圏)	輸送需要量の算定		適正車両数の算定				
		令和6年度末 総実車キロ	平均対前 年度比率*1	平均総走行キロ *2	平成13年度 実車率	平均延実働 車両数*3	実働率	
							上限値算出用 *4	下限値算出用 *4
青森県	青 森 交 通 圏	7,035,541	0.92	20,177,740	0.33	144,252	0.62	0.92
	八 戸 交 通 圏	4,849,141	0.92	13,357,957	0.39	99,230	0.59	0.84
	弘 前 交 通 圏	3,591,663	0.92	9,861,468	0.34	80,178	0.59	0.81
岩手県	盛 岡 交 通 圏	8,351,920	0.93	20,272,581	0.41	159,080	0.58	0.87
宮城県	仙 台 市	28,901,791	0.95	73,270,484	0.38	494,596	0.64	0.92
秋田県	秋 田 交 通 圏	4,730,649	0.94	12,127,726	0.38	94,317	0.57	0.88
福島県	福 島 交 通 圏	4,418,784	0.94	10,027,331	0.44	90,564	0.61	0.87
	郡 山 交 通 圏	5,830,938	0.95	13,698,640	0.42	114,263	0.59	0.90
	会 津 交 通 圏	1,785,623	0.92	4,392,816	0.44	44,528	0.55	0.86
	い わ き 市	4,069,665	0.94	9,298,653	0.45	73,055	0.59	0.79
山形県	山 形 交 通 圏	4,007,669	0.94	9,307,461	0.43	84,964	0.50	0.87

※「平均対前年度比率」、「平成13年度実車率」及び「実働率」の数値は、小数点第3位で四捨五入して記載しているため、必ずしも計算結果は一致しない。

*1.....「平均対前年度対比率」は、令和2年度から令和6年度における総実車キロの対前年度比率の平均値

*2.....「平均総走行キロ」は、令和2年度から令和6年度における総走行キロの平均値

*3.....「平均延実働車両数」は、令和2年度から令和6年度における延実働車両数の平均値

*4.....適正車両数「上限値」の算出にあたっては令和2年度から令和6年度における実働率の平均値を適用

適正車両数「下限値」の算出にあたっては平成13年度の実働率を適用

(別紙)

1. 算定方法

必要車両数 = 輸送需要量 ÷ (総走行キロ × 実車率 ÷ 延べ実働車両数) ÷ 365 ÷ 実働率

2. 必要車両数の算定基礎数値

青森県

青森交通圏

輸送需要量 A=B×C	令和6年度の 総実車キロ B	直近5年間分の 対前年度比率の平均値 C
6,443,970	7,035,541	0.92

必要車両数 A ÷ (D×E÷F) ÷ 365 ÷ G	輸送需要量 A	総走行キロ D	実車率 E	延べ実働車両数 F	実働率 G
413	6,443,970	20,177,740	0.33	144,252	0.92

八戸交通圏

輸送需要量 A=B×C	令和6年度の 総実車キロ B	直近5年間分の 対前年度比率の平均値 C
4,460,197	4,849,141	0.92

必要車両数 A ÷ (D×E÷F) ÷ 365 ÷ G	輸送需要量 A	総走行キロ D	実車率 E	延べ実働車両数 F	実働率 G
274	4,460,197	13,357,957	0.39	99,230	0.84

弘前交通圏

輸送需要量 A=B×C	令和6年度の 総実車キロ B	直近5年間分の 対前年度比率の平均値 C
3,299,397	3,591,663	0.92

必要車両数 A ÷ (D×E÷F) ÷ 365 ÷ G	輸送需要量 A	総走行キロ D	実車率 E	延べ実働車両数 F	実働率 G
264	3,299,397	9,861,468	0.34	80,178	0.81

①総走行キロ(D)及び延べ実働車両数(F)のデータは、前5年間平均のデータである。

②実車率(E)及び実働率(G)は平成13年度の実績値

※「直近5年間分の対前年度比率の平均値」、「実車率」及び「実働率」の数値は、小数点第3位で四捨五入して記載しているため、必ずしも計算結果は一致しないことがある。

1. 算定方法

必要車両数 = 輸送需要量 ÷ (総走行キロ × 実車率 ÷ 延べ実働車両数) ÷ 365 ÷ 実働率

2. 必要車両数の算定基礎数値

宮城県

仙台市

輸送需要量 A=B×C	令和6年度の 総実車キロ B	直近5年間分の 対前年度比率の平均値 C
27,318,645	28,901,791	0.95

必要車両数 A÷(D×E÷F) ÷365÷G	輸送需要量 A	総走行キロ D	実車率 E	延べ実働車両数 F	実働率 G
1,469	27,318,645	73,270,484	0.38	494,596	0.92

①総走行キロ(D)及び延べ実働車両数(F)のデータは、前5年間平均のデータである。

②実車率(E)及び実働率(G)は平成13年度の実績値

※「直近5年間分の対前年度比率の平均値」、「実車率」及び「実働率」の数値は、小数点第3位で四捨五入して記載しているため、必ずしも計算結果は一致しないことがある。

(別紙)

1. 算定方法

必要車両数 = 輸送需要量 ÷ (総走行キロ × 実車率 ÷ 延べ実働車両数) ÷ 365 ÷ 実働率

2. 必要車両数の算定基礎数値

岩手県

盛岡交通圏

輸送需要量 A=B×C	令和6年度の 総実車キロ B	直近5年間分の 対前年度比率の平均値 C
7,785,743	8,351,920	0.93

必要車両数 A ÷ (D×E ÷ F) ÷ 365 ÷ G	輸送需要量 A	総走行キロ D	実車率 E	延べ実働車両数 F	実働率 G
465	7,785,743	20,272,581	0.41	159,080	0.87

①総走行キロ(D)及び延べ実働車両数(F)のデータは、前5年間平均のデータである。

②実車率(E)及び実働率(G)は平成13年度の実績値

※「直近5年間分の対前年度比率の平均値」、「実車率」及び「実働率」の数値は、小数点第3位で四捨五入して記載しているため、必ずしも計算結果は一致しないことがある。

(別紙)

1. 算定方法

必要車両数 = 輸送需要量 ÷ (総走行キロ × 実車率 ÷ 延べ実働車両数) ÷ 365 ÷ 実働率

2. 必要車両数の算定基礎数値

秋田県

秋田交通圏

輸送需要量 A=B×C	令和6年度の 総実車キロ B	直近5年間分の 対前年度比率の平均値 C
4,458,903	4,730,649	0.94

必要車両数 A÷(D×E÷F) ÷365÷G	輸送需要量 A	総走行キロ D	実車率 E	延べ実働車両数 F	実働率 G
284	4,458,903	12,127,726	0.38	94,317	0.88

①総走行キロ(D)及び延べ実働車両数(F)のデータは、前5年間平均のデータである。

②実車率(E)及び実働率(G)は平成13年度の実績値

※「直近5年間分の対前年度比率の平均値」、「実車率」及び「実働率」の数値は、小数点第3位で四捨五入して記載しているため、必ずしも計算結果は一致しないことがある。

1. 算定方法

$$\text{必要車両数} = \text{輸送需要量} \div (\text{総走行キロ} \times \text{実車率} \div \text{延べ実働車両数}) \div 365 \div \text{実働率}$$

2. 必要車両数の算定基礎数値

福島県

福島交通圏

輸送需要量 $A=B \times C$	令和6年度の 総実車キロ B	直近5年間分の 対前年度比率の平均値 C
4,168,052	4,418,784	0.94

必要車両数 $A \div (D \times E \div F) \div 365 \div G$	輸送需要量 A	総走行キロ D	実車率 E	延べ実働車両数 F	実働率 G
266	4,168,052	10,027,331	0.44	90,564	0.87

郡山交通圏

輸送需要量 $A=B \times C$	令和6年度の 総実車キロ B	直近5年間分の 対前年度比率の平均値 C
5,529,261	5,830,938	0.95

必要車両数 $A \div (D \times E \div F) \div 365 \div G$	輸送需要量 A	総走行キロ D	実車率 E	延べ実働車両数 F	実働率 G
338	5,529,261	13,698,640	0.42	114,263	0.90

会津交通圏

輸送需要量 $A=B \times C$	令和6年度の 総実車キロ B	直近5年間分の 対前年度比率の平均値 C
1,634,901	1,785,623	0.92

必要車両数 $A \div (D \times E \div F) \div 365 \div G$	輸送需要量 A	総走行キロ D	実車率 E	延べ実働車両数 F	実働率 G
119	1,634,901	4,392,816	0.44	44,528	0.86

いわき市

輸送需要量 $A=B \times C$	令和6年度の 総実車キロ B	直近5年間分の 対前年度比率の平均値 C
3,812,292	4,069,665	0.94

必要車両数 $A \div (D \times E \div F) \div 365 \div G$	輸送需要量 A	総走行キロ D	実車率 E	延べ実働車両数 F	実働率 G
232	3,812,292	9,298,653	0.45	73,055	0.79

①総走行キロ(D)及び延べ実働車両数(F)のデータは、前5年間平均のデータである。

②実車率(E)及び実働率(G)は平成13年度の実績値

※「直近5年間分の対前年度比率の平均値」、「実車率」及び「実働率」の数値は、小数点第3位で四捨五入して記載しているため、必ずしも計算結果は一致しないことがある。

(別紙)

1. 算定方法

必要車両数 = 輸送需要量 ÷ (総走行キロ × 実車率 ÷ 延べ実働車両数) ÷ 365 ÷ 実働率

2. 必要車両数の算定基礎数値

山形県

山形交通圏

輸送需要量 A=B×C	令和6年度の 総実車キロ B	直近5年間分の 対前年度比率の平均値 C
3,768,884	4,007,669	0.94

必要車両数 A ÷ (D×E÷F) ÷ 365 ÷ G	輸送需要量 A	総走行キロ D	実車率 E	延べ実働車両数 F	実働率 G
250	3,768,884	9,307,461	0.43	84,964	0.87

①総走行キロ(D)及び延べ実働車両数(F)のデータは、前5年間平均のデータである。

②実車率(E)及び実働率(G)は平成13年度の実績値

※「直近5年間分の対前年度比率の平均値」、「実車率」及び「実働率」の数値は、小数点第3位で四捨五入して記載しているため、必ずしも計算結果は一致しないことがある。